

松陵

能代高等学校同窓会
事務局
能代高校内
能代市高埜2-1
TEL0185-54-2230
題字は神馬会長

同窓会員の皆様へ



同窓会長
神馬恒成

早いもので今年も暮を迎える候となりましたが、この一年間、同窓会員の皆様には各地各県におきまして益々ご活躍なされたものと、そのご清栄のほどをお喜び申しあげます。

今年もまた、県庁能高会、秋田支部、東京同窓会、八童支部などが開催され、ご案内を受けて学校当局と共に参加して、母校を思う会員の熱情には深く心を打たれました。

総会その他の運営につきましては、多大なご協力をいただいておりますが、本年度から能代の本部同窓会総会の運営を当番期に担当していただくことになり、平成六年度に因んで新制六期生と新制十六期生にお願いたしましたところ、結果は大成功でした。来年度は新制七期生と新制十七期生が担当となります。また来春の同窓会入会式(卒業式前日)は新制一期生(旧制十九期生も含む)担当となります。よろしくお願いたします。

平成七年は母校の創立七十周年を迎えます。昨年十月、同窓会、PTA、学校が一体となった実行委員会が発足し、数回の会議を重ねて記念事業の準備を進めてきており、その大綱が決定しました。

この件につきましては、同窓会負担分として二千六百万円の予算を立て、昨年十一月、本年五月と二度の募金お願いと、趣意書、振替用紙等を同封郵送いたしました。早々と募金に応じてくださった同窓生各位には深く感謝申しあげます。

さて、現在の募金状況はその目標額の六十%を超えた段階でややお目にもない状況であります。またご協力を得られない同窓生にはお早目に送料下されまますようお願い申し上げます。今や同窓会員の大多数は若い人達によって構成されております。従って、特に二十代、三十代、四十代の皆様には、母校の発展充実、後輩生徒育成のために、よろしくお願い申しあげます。

右の趣旨をご理解いただき、同窓生の絶大のご賛助を心からお願い申しあげ次第であります。

同窓生との絆を強めて



学校長
小野寺清

早いもので今年も残すところ一か月となりました。校舎の周辺も樺や銀杏の葉が散りはじめ、松の緑のみが目立つようになりました。厳しい冬の風に備えて、木々それぞれの準備が整ったように思えます。

さて、来年迎える七十周年記念の内容もほぼ決定し、各領域で実施に向けた準備が着実に進められております。来年に先んじてすでに、記念事業の一つ、前庭の整備は終了しておりますが、この度、国道七号線沿いに本校入口を示す標柱が十年振りに新設されました。当初、遠方からでも見えていた本校でしたが、周辺に建物や看板が立ち並び、その位置が分からなくなっておりましたので、この標柱は訪問される方々からお誉めの言葉をいただいております。

また九月十四日旧制十七期卒業生の岩森栄助氏をお招きし、芸術教室を開催いたしました。岩森氏の同期の方々による企画に学校が相乗りした形で、「フレ七十周年事業」として能代文化会館で行いました。同窓生、保護者、地域の関係者と在校生が一堂に会し、岩森氏の年齢を感じさせない朗々と響く歌声にただ感動いたしました。旧制十七期の皆様に厚く御礼を申し上げます。

さて今年度も就職や公務員志望者を中心とした特別講座「総合教養講座」を開講いたしました。先陣を切って副会長の飯坂誠悦氏に「人とのめぐり合い」のテーマで御講演をお願いいたしました。今年度は十人程度の同窓生の皆様に講師をお願いしております。

また、同窓生の皆様から揮毫していただいた色紙も六十二枚となり、正面玄関に展示しております。これらは、これまで以上に同窓生との絆を強め、皆様の人生経験、社会経験を生徒の学習に役立てたいとの発想の一つでもあります。社会構造が激しく変化する時代に学校だけが隔離した集団であってはならないし、同窓会、学校が一体となった人材育成は、能代高校の発展に欠かすことのできないものと信じております。

生徒諸君も精一杯頑張っております。進学実績も過去最高の昨年を追い越す勢いですし、夏場に振わなかった運動部も、ソフトテニス部の全県優勝をはじめ続々とつながり、来年に楽しみを残してくれました。今後とも文武両道において誇れる学校づくりを目指して努力いたしますので、同窓会の皆様の御支援、御協力を切にお願い申し上げます。

式典日は九月二十二日(金)

七十周年記念実行委員会報告

当番幹事(新制六期と新制十六期)のご努力により同窓会総会(十月二十二日)は近年にないほどの盛り上りをみせた。中でも蓮沼光氏(新制九期・秋田県総務部長)による講演「秋田県の現状と展望」は大変好評であった。

また突然であったが東京同窓会会長小林肇氏(旧制十九期)や小野喬氏(新制二期)なども出席してくださった。

総務部

一、式典日 平成七年九月二十二日(金)

式典会場 能代市文化会館

一、祝賀会場 キャッスルホテル平安閣

事業部

一、七十周年記念講演について

講演者 水木 初彦氏
略歴

昭和三十三年 能代高校卒(新制十期)

同 年 東京大学文工入学

昭和三十五年 O-マオリンピック大会ポート(フオア)競技出場

昭和三十七年 東京大学法学部卒業

同 年 朝日新聞入社

現在 朝日新聞東京本社総務局長

招待試合について

硬式野球 招待校 学法石川高校・秋田高校

招待日 平成七年六月十六日(土)、十七日(日)

軟式野球 招待校 仙台商業高校・本荘高校

招待日 平成七年五月十三日(土)、十四日(日)

財務部

一、募金状況について

千五百二十六万三千円(九月十八日現在)

一、募金方法について

各期毎に呼びかける

広報部

一、記念誌進捗よく状況について

十里強歩大会の思いでの原稿募集



7/5 70周年第4回実行委員会(財務部)

各支部活動状況

県庁能高会



6/10 県庁能高会会長
鈴木元彦氏の挨拶（新制7期）



6/10 中央は神馬同窓会長

総会



9/22 校歌斉唱



9/22 総会 当番幹事のみなさん（新制6期）



9/22 総会
久しぶりに総会に顔を見せた
小野喬氏（新制2期）と
三浦八電支部長（旧制15期）



講演する蓮沼光氏
（新制9期）



蓮沼氏の講演に
耳をかたむける、みなさん

秋田支部



9/20 秋田支部同窓会で講演する
藤本光男氏（旧制15期）

東京同窓会

10/7 決意も新たに
新入会員（新制46期）



10/7 東京同窓会 談笑する
宮腰洋逸 能代市長（新制5期）と
関根市男氏（新制11期）



10/7 東京同窓会 談笑する
佐々木満先生（旧制15期）と
小林肇 東京同窓会長（旧制19期）

八竜支部



7/15 八竜支部

同期会活動記録

旧制15期



佐々木満先生書の校訓を前に



7/10 文武両道の記念碑を前に

木に青春時代の想い出を語らいながら一周しました。高瑞の新校舎では小野寺校長先生をはじめ関係の先生が我等一行を出迎えて下され、校舎内外を案内して頂き恐縮しました。整備された前庭、充実した施設々々備等恵まれた学びの環境に一同「素晴らしい」の声しきりでした。市内の諸々を見学の後、日本海にそぐ米代川を眺望する松風庵で、美酒を飲み交しながら、共に過ごした中学時代から今日の暮しぶりまで、一気に五十年の歳月を埋めようとする熱っぽい語らいに尽きるこたない青春の宴は時を忘れて盛り上りました。肩を組んでの校歌の大合唱と大拍手の裡に再会を約し、記念すべき短い一日を無事に終えました。



正氏 稲垣

旧制第十五期生、卒業五十年ぶりの再会は七月十日、県内外より懐かしい旧友が、夫人同伴の人、又亡き旧友のご夫人達、四十二名が集い合う熱い再会の日となりました。

旧樽子山校舎跡、周辺に残る桜の老

旧制13期



9/17 東京いずみ屋

旧制14期



11/9 於金勇
能中第十四期会 古稀を慶ぶ会

旧制16期



文化祭を見学する

生のご丁寧なるお迎えをいただき誠に有難く厚く御礼申し上げます。同窓会の担当の佐藤先生のご案内で、見学することが出来まして、たのしくなつかしく、うれしい一時でありました。このかけがえのない出会いをくださったことに心から感謝申し上げます。後輩の英知をふりしほった能高祭にかける情熱が身に伝わる感で一杯でした。たとへば新聞部のメディアの多様化複雑化その価値感の相違など、細かな事柄まで配慮した展示にはプロ級の感がありました。又後輩の頭をさげて「ようこそお出下さいました」という言葉は本当にうれしく感じました。母校を後にして四十九年。頭に白いものが多くなり、足、腰を気にする年齢となりました。東京、千葉、県内各地より参加した同期生（七十二名）三十三人にとって能高祭という場面がタイムトンネルとなって、心の中どこかに生きつづけていた青春をよみがえらせてくれました。はつらつたる気力の充実感を覚えました。有難うございました。

母校の益々の発展をご祈念申し上げます。



田口善一郎氏

去る六月二十五日能代高校旧制十六期第十九回同期会で、親睦会の前に樽子山の松陵の跡地をたずね、それから高瑞の新しい学び舎を訪問致しました。丁度能高祭が開催中、ご多忙の所小野寺校長先生始め諸先

母校訪問



同期会で学校も訪れた（旧制16期）

旧制17期



9/14 48年ぶりの同期の集い

学 校 報 告

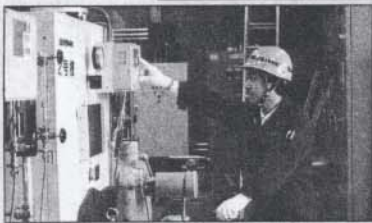
70周年記念事業



9/14 後輩の前に熱唱する
岩森栄助氏(旧制17期)
於 能代市文化会館



11/14 標柱完成



20年振りのボイラー改修
(新制27期 大塚政広氏)



後輩への熱いメッセージ(校長室前廊下)

秋季新人戦優勝ラッシュ

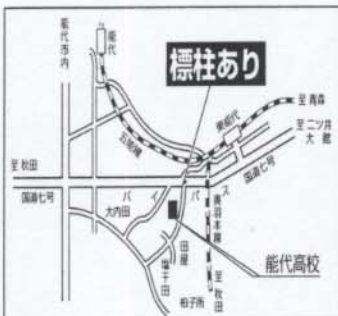


9/12 秋季県北大大会7年振りのV7
硬式野球



10/8 15年振りの全県優勝
ソフトテニス

学校所在地



県北地区新人戦優勝



9/16 剣道



9/17 サッカー



10/5 柔道